

令和5年度健康保険料率及び2月10日開催の組合会で令和5年度予算が承認されましたので、お知らせいたします。

令和5年度の健康保険料率

☆ 健康保険料率 ☆

○一般保険料率

令和5年度の一般保険料率は、令和4年度と同じ95/1,000です。
(一般保険料率と調整保険料率が変わっていますが、合計は同じです。)

	一般保険料率	調整保険料率	合計保険料率
事業主	55.226/1,000 (55.255/1,000)	0.774/1,000 (0.745/1,000)	56.000/1,000 (56.000/1,000)
被保険者	38.474/1,000 (38.495/1,000)	0.526/1,000 (0.505/1,000)	39.000/1,000 (39.000/1,000)
合計	93.700/1,000 (93.750/1,000)	1.300/1,000 (1.250/1,000)	95.000/1,000 (95.000/1,000)

※()内は令和4年度の料率

○介護保険料率

令和5年度の介護保険料率は、令和4年度と同じ17/1,000です。
超高齢化、介護に係る費用増等により介護納付金が増加傾向ですが、据置きとしました。

介護保険料率	
事業主	8.5/1,000 (8.5/1,000)
被保険者	8.5/1,000 (8.5/1,000)
合計	17.0/1,000 (17.0/1,000)

※()内は令和4年度の料率

○実施時期 : 令和5年3月1日 (令和5年4月20日払い給与控除分から適用)

☆ 任意継続被保険者の標準報酬月額について ☆

昨年9月30日現在の平均標準報酬月額は419,674円でしたので、令和5年度の任意継続被保険者の標準報酬月額は、

- ① 資格喪失時の標準報酬月額
- ② 410,000円 (第27等級: 395,000円以上425,000円未満)

被扶養者の異動について

< 異動届をお忘れなく! >

もうすぐ新年度になります。

ご子息が学校を卒業し就職などによりみなさんの扶養から外れ場合は、当健康保険組合へ「被扶養者異動届」を提出いただき、扶養から外す手続きを忘れないようお願いいたします。扶養に該当しない人を扶養認定していると、余分な医療費や納付金を支払うことになり、健保財政に大きな影響を与えることになります。

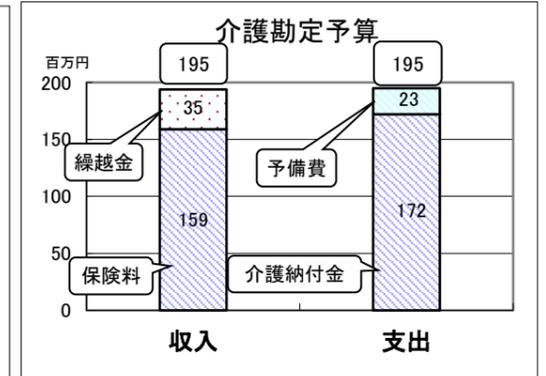
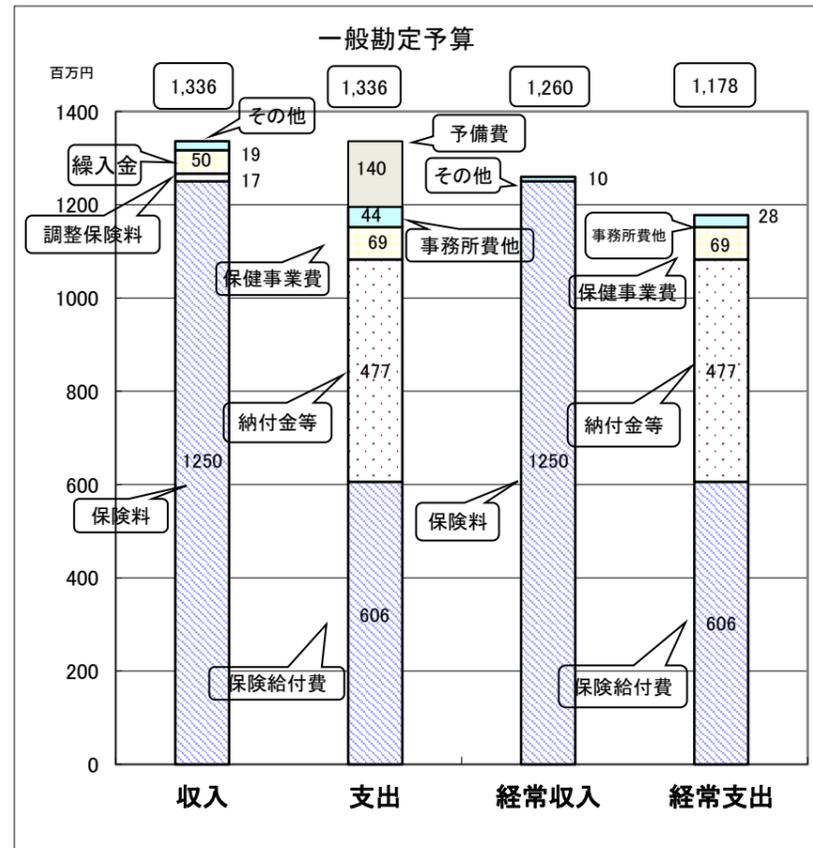
令和5年度予算

☆ 一般勘定 ☆

1. 被保険者数は、事業主の人員計画等を基に令和4年度実績見込に比べ16名減の2,122名とし、保険料率は前年度同様の95/1,000に据え置きました。また、平均標準報酬月額及び総標準賞与額は、生産量、業績の回復により、それぞれ417,655円、2,663,110千円へ増額しました。
2. 収入面では、一般保険料1,250百万円、調整保険料17百万円を見込んでいます。その他財政調整事業交付金9百万円、特定健康診査等事業収入8百万円、その他3百万円に、収入不足を補填するために別途積立金からの繰入金50百万円を加え、収入合計は1,336百万円となります。
3. 一方支出面では、保険給付費はコロナ禍による受診控えの反動を考慮し、前年度実績見込に対し2%増の606百万円としました。納付金は、前期高齢者医療費の減少及び前々年度の精算により前期高齢者納付金は165百万円に減額しましたが、後期高齢者支援金は312百万円に増額となり、全体では前年度実績見込44百万円減の477百万円となりました。その他、保健事業費69百万円、事務所費25百万円、予備費140百万円等で、支出合計は1,336百万円を見込んでいます。
4. 経常収支差額は、前年度に比べ保険料収入は減少しますが、納付金が大きく減額されることにより、保険料率を据え置いたままでも黒字となる予算となりました。

☆ 介護勘定 ☆

1. 介護納付金は増額を見込んでおり、保険料収入は減少しますが、前年度の繰越金があるので、介護保険料率も前年度のまま据え置きとしました。
2. 介護保険収入は159百万円を見込んでおり、前年度の繰越金35百万円を加え、収入合計は195百万円としました。一方支出は介護納付金を172百万円で見込んでおり、その他予備費に23百万円を計上し、支出合計は195百万円としました。



☆財産の状況☆

